

令和4(2022)年度 学童クラブ事業年間活動報告書

(京都市桂徳) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標(指針)	主な取組名	成果と課題
生活援助機能	安全・衛生の確保	出欠・帰宅確認 帰宅指導 手洗い・消毒・コロナ感染防止対策 冬期帰宅時間の設定・調整 ハンカチ・ティッシュ・マスクの着用 児童の体調管理	ICTを早くから取り入れ(保護者への安心安全な受け入れと職員の職務軽減のために)WEBでの出欠の登録をお願いしている。朝一と昼一に出欠の登録確認をし、児童の本日の予定を事前に確認し、把握する。子どもたちが小学校の授業が終了後、子どもたちが安全に帰館しているかを確認を行う。また、安全な帰館に関しては小学校と共有し、いのこり勉強の児童がいる場合は担任がメモをもたせるという工夫を教頭先生が取り入れてくださりしっかりと連携している。しかし、担任の先生のメモを持たせ忘れなど帰館していない児童については、学校へ確認の連絡を入れる。学校にいない場合は、保護者に電話を入れ所在確認を行う。今後も児童の安全を守るうえで小学校との連携や児童の状況共有は必要事項である。帰宅指導については、春休みに各帰宅グループに児童館から帰宅する際の道順を確かめ、実際に歩き児童自ら道路の狭い箇所や交通量の多い箇所の確認を行う。しかし、年度の後半になると慣れもあり、道路へのはみだしや、走って帰宅するなど危険な行動をする子どもたちもいた為、来年度も引き続き帰宅指導を行い、安全な帰り方について指導する必要がある。 手洗いについては、3年におよぶコロナ禍ということもあり帰館時・外遊び後・昼食前・おやつ前などは手洗い・消毒の指導を徹底し、感染防止にむけた対策を行う。ただ、手洗いの際に、石鹸をつけ丁寧に洗えない子どもも多く、徹底できていない事もあった。今後コロナへの対応は緩和されてきているが、感染症の流行防止対策としては、その都度声かけを行うことが必要である。マスクの着用については館内で過ごす場合はつけるように指導し、外遊びの場合については特に夏休みや暑い日は外すように声をかける。(熱中症予防) 冬季(11月~1月末)は日没が早く、暗くなるのも早いのでグループ帰りの時間を4時45分と夏季より15分早く帰宅できるようにする。今後も子どもたちの安全面を考え同様にっていく必要がある。
	健康の管理・情緒の安定	健康観察の提出・確認 体調管理の指導 おやつ提供 長期休業中の学習時間	コロナの感染防止対策もあり、帰館時には体温を測り体調管理を行う。また、土曜日や長期休業中は、健康観察の記入をお願いし、児童館での確認をする。記入漏れや、持参忘れの場合は、保護者に連絡し、体調確認を行う。夏休み頃から新型コロナウイルスが流行し、感染対策のため、袋菓子などの持ち帰り可能なおやつを提供する。しかし、持ち帰りのおやつが家にたまってしまふなど苦情もあった。食物アレルギーを持つ児童に関しては、職員が把握出来るように一覧で掲示し、代替のおやつで対応をする。しかし、把握できていない職員もおり誤って提供してしまうこともあった。職員全体で周知し、児童の状況を把握・提供について再度徹底を行う必要がある。また、保護者の方からの苦情に関してはコロナの状況を見ながらメール配信や保護者懇談会の時に事情を説明し、理解を得るようにした。コロナが流行している時は飲み物や簡単に食べられる物で対応したり工夫をする。長期休業中については朝から利用する児童も多く、宿題の時間の1日が長く児童館で過ごすため学習時間の確保と静かに落ち着いて過ごせる時間の確保を行う。しかし、本や自由帳など持ってこず、長時間過ごせない児童も多くいるため、保護者へ声をかけ準備をお願いする。
	基本的生活習慣の確立	挨拶、片付け指導 手洗い・うがい・マスクの着用の徹底	子どもたちが帰館する時には職員は必ず玄関に立ち「おかえり」の声かけを行う。子どもたちの帰館時の初見は大切である。熱がある場合はすぐに学校へ連絡し、1日の児童の過ごしや給食の食べ方や状況について確認する。(保護者にも伝える)各個人のロッカーやおもちゃの片づけの際に声かけをし、持ち物管理や身の回りの整理整頓が普段からできるように指導を行うことがうまく出来ず、紙や本、ノート、おやつなど置きっぱなしの児童が目立つ。職員も声をかけることを忘れ指導しきれいなことも多々あった。次年度への課題である。ハンカチを持参している児童もいるが、持参していない児童が多く、感染症対策もありペーパータオルの設置を行った。しかし、ペーパータオルを置くことでますます持参しない児童が増えるのも事実である。持参の声かけは今後も課題である。また、忘れ物が多く、個人の持ち物については名前を記入していただくよう到来年度もおたよりやメールなどを使って伝える必要がある。
	社会生活技術の獲得	班活動、帰りの会 児童館事業への参画 避難訓練	コロナの影響もあり班活動はうまく取り組むことができなかった。帰りの会では、3年生が中心となりお当番活動を行う。毎日輪番で日直を行い、ジェスチャーゲームや人まちがい探しなどのゲームを実施したが、廊下でしゃべったりふざけて遊ぶなどをし、決めるのに時間がかかりうまくできていないクラスもあった。職員の技量によってクラスでの落ち着きや成長に差があったのも事実である。お話をくくして決めるなど工夫をして行っているクラスもあった。また、職員からの連絡事項や明日の予定を伝えることで、各個人が児童館事業や学童クラブの取り組みを把握し参加することができていた。児童館事業の避難訓練は毎月子どもたちが常日頃から災害時のことについて意識できるように取り組む。後半、職員員の消火器訓練も実施し、実際起こった時にしっかりと対応できるよう、職員が子どもたちに指導できるように取り組むことは次年度も引き続き必要な事項である。
子ども育成機能	生活体験の拡大	新入生歓迎会、お誕生日会 修了式・お楽しみ会 思い出遠足	新入生歓迎会では、春休み中に高学年・3年生がそれぞれ練習をし、高学年が当日の受付・司会・メダル渡しを行い、3年生がお迎えの言葉を行う。在籍児童が新入会の子どもたちへ「ようこそ、児童館へ」の気持ちを表現するにはとてもよい取り組みだと感じる。次年度も工夫し、取り組む必要がある。6年生まで児童館の学童クラブを利用するようになり、いろいろ施行錯誤しながら取り組んできたが、3年生の役割と高学年の役割を別に行う流れが定着し、うまく進んできたように感じる。 毎月のお誕生日会は、昨年まで同日で行っていたが高学年の帰館時間が6時間授業と遅く、企画の遊びがうまく開催できない状況となったこと・学童クラブ児童の増加とでおやつの日とあそびの日の2回に分けて開催をする。おやつはシャトレーゼのケーキや菓子の詰め合わせを用意したり、ドーナツなど子どもたちが楽しみにできるように準備する。しかし、学童クラブが次年度170人を超える状況。今まで通りのお誕生日会やおやつができるのが課題である。また、子どもたちに心をこめて渡すお誕生日カードを職員が作成。しかし、職員により思いが違ったもの事実である。次年度も行うのであれば、職員間の意思疎通は必ず行うことが重要である。今後も児童が企画を考え、楽しめる機会が必要であると考えらるなら、職員の工夫やまた、臨機応変な対応は今以上必要になる。1年の締めくくりになる修了式であり、全学年が参加しアルバムや記念品を受け取る。アルバムは1年間の様子の写真や個人のページ、アンケートのページ、職員ページなど大人になっても大切にしてくれるよう担当職員が思いを込めて子どもたちと取り組む。修了式後のお楽しみ会は高学年が企画し、漫才のステージや遊びのコナー、駄菓子屋を開催。高学年の年度末の大きな取り組みとなった。高学年の力を見る良い終結の場となった。(子どもも主体)
	社会性の養成	お当番活動、帰宅指導、帰りの会、OBとの交流	3年生による帰りの会の日直や、高学年によるお誕生日会の企画などを行い、上の学年の子どもたちが下の学年の子どもたちを思いやる気持ちを育てることに力を入れた。1・2年生においても、上の学年の姿を見て、「自分たちも〇〇したい」といった憧れや目標につながると感じる。しかし、クラスによって差があったように思う。今後もさまざまな企画や取組を通して下級生への思いやりの気持ちや上級生への感謝の気持ちや育み、それぞれが思いやれる行動ができるように声をかけていく。また、職員も子どもたちと同様に個人の力をつけることが課題である。年度末の6年生を送る会では、今まで学童クラブで6年間すごした子どもたちも招待する場としている。学童クラブOBの子どもたちも6年生を送る会などに参加し、楽しむ。現在、学童クラブに在籍している子どもたちとの交流もでき、13年の積み重ねがようやく実を結んだように感じた。これから先も意識して職員が子どもたちとかわり成長につながるよう育成することが必要である。

	自立の促進と自主性の尊重	ステージ発表の出演 学年会議 高学年会議 新入生歓迎会、お誕生日会	桂徳まつりや、児童館まつりなどのステージに向けて、チアダンスやけん玉ダンスの練習を行う。高学年児童が低学年児童に振り付けを教え、一緒に取り組むよう職員が関わった。学年会議では、各学年の目標や企画会議を行い実施し学年の団結力をつけることができた。しかし、3年生については、職員が事前準備がしっかりとできておらず取り組みができていないことが多く子どもたちの楽しみを無くしてしまった。子どもたちの自立や自主性を育成している中で職員の意識が一番大事になる。次年度はどの学年もしっかりと準備をし子どもたちが楽しく学童生活がおくれるようにすることが課題である。
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交流	学童クラブだより・ブログ 保護者懇談会・個人懇談 申請説明会 入会説明会	学童クラブだより・紙ブログを毎月発行し、毎月の予定や学童クラブでの生活の様子を写真つきで保護者の方に伝える。紙ブログに関しては職員が期限内に間に合わないこともあり発行できない時もあった。また、実際行ってきたことをしっかりと文章や写真にし、伝える必要があることを職員が意識することが課題。保護者懇談会は年3回実施。1回目はパワーポイントを使用し児童の日々の様子や学童での過ごし方など日々子どもたちがどんな様子であるかを具体的に伝える場とした。2回目は保護者に学童クラブの職員体験を実施し、報告するといった内容。4名の保護者が職員の体験し、懇談会で体験談を語る。3回目はコロナもようやく落ち着いてきたのでなかなか実施できなかった親子交流会を実施。2日間にわけてドッジボールやけいどろなど親子で楽しむ機会を作る。保護者同士の交流も久々に実施できた。交流会の後に学童クラブからの予定や報告など行う。たくさんの親子が参加し、年度末により懇談会が実施できた。次年度の申請説明会では、次年度学童クラブ入会予定の保護者の方に来館していただき、ZOOMではなく複数回に分けて行う。新しくICTのシステムが変更となることや、申請もネット申請となることから直接対面での説明会を実施する必要があった。次年度は家庭数もかなり増加することを見込んで、説明会や懇談会の実施にむけては工夫が必要である。(コロナ対応が緩和されたとはいえ感染はまだある中、マスクの着用が個人の自由にもなり込み合うことへの配慮は必要になる)
	子育ての仲間づくり	お楽しみ会 保護者懇談会	コロナの流行もあり、親子での交流(学年・学年を越えての)は2年間実施できなかった。今年度、第3回目の保護者懇談会を親子交流の場とし同学年親子や他学年親子など保護者同士の交流する機会持つ。日頃の子どもの様子(お友達との関わりなど)を見ていただく良い機会となるよう工夫する。今後も親子交流の場を設け、同学年や他学年同士の保護者の交流を行い、子どもたちの様子を気軽に話すことができる機会を作っていくことは大切である。また、職員もなかなか会えなかった保護者と久し振りに話し、信頼を重ねることができた。保護者懇談会は多くの保護者の方々に参加していただけるように、今後も学童クラブだよりに掲載することや、39メールなどの広報を行い周知できるように職員の工夫が必要である。
	子育てを支えるネットワークの形成	桂徳小学校との連携 西総合支援学校との連携	桂徳小学校とは、子どもたちの生活や様子・新型コロナウイルスの対応などの情報交換を行い、連携に務めた。コロナも緩和されてきたので担任との懇談会を戻し、連携できるようにする。コロナの感染状況もあり、今年度は連盟より統合育成担当の先生が西総合支援学校へ出向き連携を行ってくださる。

令和4(2022)年度 学童クラブ事業年間活動報告書

( 京都市桂徳 ) 児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人			
(1) 帰宅指導	3回	33	22	25	10	6	5							101	春休み期間を利用し、帰宅グループごとに帰り道の確認、危険箇所や道路の歩き方を職員が子どもたちに指導・確認などを行う。
(1) 引き渡し訓練	1回	22	21	13	1	0	0	1					51	109	実際に災害が起こった時、瞬時に行動し児童を安全に保護者への引き渡しをする訓練を行う。(桂徳学区は桂川の浸水区域に位置することもあり必須項目である)
(2) 新入生歓迎会	1回	44	35	29	8	6	5							127	4月に新たに学童クラブに入会する子ども達の歓迎会を行う。今年度は高学年児童が当日の受付・メダル渡し・司会を行い、3年生児童が迎えの言葉を行う。
(2) 1年生オリエンテーション	1回	38												38	1年生を対象に、オリエンテーションとして児童館の説明やあそびのルールの確認などを行う。最後に〇×クイズを行い、理解をしているか確認を行う。
(2) 1年生会議	3回	102												102	2人1組での机の出し方を学ぶ。(学童机の片付けの指導)また、1年生みんなあそびの企画を考える。
(2) 1年生みんなあそび	2回	73												73	1年生児童でドッジボール・けいどろを行い、学年のチームワークの団結を行う。
(2) 2年生会議	7回		178											178	学年目標や個人の年間目標など話し合いを行う。
(2) 3年生会議	11回			233										233	年間目標や学童クラブのリーダーとしての役割を確認する。
(2) 高学年会議	15回				72	49	41							162	新入生歓迎会や毎月のお誕生日会、お楽しみ会などの企画運営を行う。
(2) 班活動	2回	80	69	62										211	班ごとにグループ名や目標などを決める。
(2) ステージ練習	30回	42	30	5	15	51	12							155	桂徳まつり、児童館まつりなどのステージ発表に向けて練習を行う。
(2) サッカー・バレー交流会	1回	0	12	0	3	4	3							22	崇仁児童館児童との交流を深め、サッカーボール・バレーボール大会を行う。
(2) モルック交流会	1回				9	3	2							14	崇仁児童館児童と高学年児童との交流を深め、梅小路公園にてモルックを行う。
(2) お誕生日会 (おやつ)	12回	441	361	275	76	46	34							1233	毎月1回、おめでとうの気持ちを込めて、お誕生日会を行う。おやつはシャトレーゼのケーキ・和菓子の詰め合わせなどを提供しお祝いをする。飾り付けなどもし、子どもたちが楽しめるように工夫する。
(2) お誕生日会 (あそび)	12回	227	161	143	46	30	18							625	高学年児童が会議で当番を決め、みんなあそびの内容を考え実行する。
(2) 西京こどもまつり引率	1回	6	1	3	2	2	1							15	西京こどもまつりに参加し、あそびコーナーや工作コーナーなどを楽しむ。ス



|